教育民生常任委員会

平成十八年度一般会計予算主な質問事項と答弁

問 全体的に補助金カットが多いが予算に盛られない必要と思われる団体にどう対応するのか。

答 市の財政から規準を設けたので精査の上必要なものには出来る限り対応する。

問 老人入浴補助金を減らすのは予防医学の面からおかしいのではないか。

答 継続の要望が多いので今年は三回おこなった。今後は市全体で老人予防を考えていく。

問 老人クラブの補助金は連合会に一本にしてその上で単位老人クラブでその使い道を検討させたらどうか。

答 今は単位クラブに出してその上連合会にも出している。実績報告と見て右ならえの補助でなく検討していく。

問 学校給食に地場産の物を使い体験出来る食育など工夫出来ないか。

答 二十五％位を地場産を使っている。生産者の顔、場所が見えるよう工夫したい。

問 教育相談員、スクールカウンセラーをどうするのか。

答 県の事業で募集が始まるので早く取り入れたい。

問 神代小学校の耐震補強設計結果が出たが危険校舎での勉学についてどう考えるのか。

答 プレハブなど臨時校舎の案もあるし、補強の案もあり新築までの間をどうするか慎重に検討中である。

十八年度病院会計予算について

問 観光地をかかえて田沢湖病院に整形外科の医師がいないのは大きな問題と思うがどうするのか。

答 秋田大学に働きかけをすすめて医師の充足に努力する。

十七年度仙北市補正予算について

問 市民浴場だしの湯の料金上限改正も含め経営の打開策はあるのか。

答 福祉の面での負担額を限度に三セク・民間での経営も成り立つように考えていく。

問 介護施設への入所待ちを解消して頂きたいが今、どれ位いるのか。

答 清眺苑三十名、桜苑二百十八名、にしき園五十二名である。

仙北市民浴場条例一部改正する条例について

問 指定管理者制度はわかるが上限八百円は他施設と比較して同じく考えるべきではないと思うがどうか。

答 民間等の受託者が付加価値付けての経営も考えている。又、あくまで上限なので市長の承認を求めることになっている委員会では採決の結果反対多数になった。

教育民生常任委員会に付託された十七議案陳情一を（仙北市民浴場条例の一部改正は否決）慎重審議の上、採択すべきと決定する。

（卒業）夢に向かって翼よ風にのれ